

令和元年第27回公安委員会会議録

日時	自午後1時30分 10月17日(木曜日) 至午後4時00分		場所	公安委員会室
会議	公安委員	原委員長 小野委員 山本委員 高木委員 下山委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 定例会議

1 「第30回熊本県暴力追放県民大会 in 合志」の開催について

(1) 開催趣旨

暴力団等反社会的勢力は、依然として様々な不法行為等を敢行しており、社会にとっての大きな脅威であることに鑑み、県民とともに、あらゆる暴力を追放し、暴力団のいない明るく住みよい熊本県の実現を目指すことを目的として開催するもの

(2) 開催日時・場所

令和元年11月1日(金) 午後1時30分から午後4時まで
熊本県合志市福原2922番地 合志市文化会館(総合センター「ヴィーブル」)

(3) 主催

公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター、合志市

(4) 後援

熊本県、熊本県警察、公益社団法人熊本県防犯協会連合会、JCPO(企業・警察連絡協議会)

(5) 出席予定者

ア 主催者

公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター理事長、合志市長、合志市教育長、合志市総務部長(開会宣言)

イ 来賓

熊本県知事、熊本県議会議長、熊本県公安委員会委員長、合志市議会議長、熊本県弁護士会会長、公益社団法人熊本県防犯協会連合会会長、JCPO会長、合志市区長連絡協議会会長、熊本県警察本部長、熊本北合志警察署長

ウ 参加見込人数

約600人

(6) 大会実践スローガン

暴力団追放3ない運動+1(プラスワン)

- 暴力団を利用しない ○ 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない ○ 暴力団と交際しない

(7) 大会次第

ア 第1部（13：30～14：10）

- (ア) 開会宣言
- (イ) 国歌斉唱
- (ウ) 表彰(暴力追放功労)
- (エ) 主催者代表挨拶、来賓祝辞
- (オ) 来賓、主催者紹介
- (カ) 大会宣言

イ 第2部（14：20～）

- (ア) 特別公演（公財）京都府暴追センター相談員兼専属講師 うえはただはる 上原忠晴氏
- (イ) コンサート 熊本県警察音楽隊

ウ 閉会（16：00）

2 ラグビーワールドカップ2019熊本開催に伴う警察諸対策の実施結果について

(1) 警備結果

ア 10月6日（日）

- (ア) 対戦カード
フランス対トンガ（23－21でフランスが勝利）
- (イ) 観客数
28,477人
- (ウ) 特異事案
なし

イ 10月13日（日）

- (ア) 対戦カード
ウェールズ対ウルグアイ（35－13でウェールズが勝利）
- (イ) 観客数
27,317人
- (ウ) 特異事案
なし

(2) 交通対策

区分	路線	交差点	方向	ピーク時間	渋滞長
10月6日	国体道路東西線	福祉センターグランド前	西行	19:40	0.6km
	瀬田熊本線	運動公園西交差点	西行	19:30	0.7km
10月13日	瀬田熊本線	運動公園西交差点	西行	19:55	0.7km

(3) ファンゾーン開催結果

ア 開催期間

9月20日（金）から10月13日（日）の間の12日間

※ 15日間開催予定のところ、台風接近のため3日間中止となった。

イ 入場者数(のべ人数)

50,049人

ウ 特異事案

なし

【委員からの質問等】

委員から「言葉の問題はなかったか」旨の発言があり、警察から「通訳を要請するような取扱いはなく、タブレットの翻訳ソフトを使った拾得物の取扱いなどが2、3件あったが問題はなかった」旨の説明があった。

また、委員から「ラグビーワールドカップは県民にとって復興の足がかりに繋がったと思う。皆さんが事前にシミュレーションを通して訓練をされた結果、当日はトラブルもなく、良かったと思う。」旨の発言があった。

第2 報告・決裁等

- 1 犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律に基づく犯罪被害者等給付金の支給裁定の説明
広報県民課犯罪支援室長から説明が行われた。
- 2 令和元年第26回公安委員会会議録の決裁
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 3 要望(R1 No.13)受理の決裁
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。